

2018 年 11 月における北部太平洋のマイワシ漁獲状況

1.マイワシ漁獲状況概要

(1)道東海域

2018 年 11 月の道東沖における主要 5 港のマイワシ水揚量(たもすくい網)は 539 トンであり、前年同期(35 トン)のであった(表 1)。たもすくい漁が 11 月 22 日まで継続して水揚げがあったため、(前年は 11 月 1 日に終漁)今年はマイワシの水揚げが極めて多かった。

表 1 道東海域におけるマイワシの水揚量

水揚港	2018年11月 (トン)	2017年11月 (トン)	前年比
花咲	—	—	—
浜中	210	—	—
厚岸	31	—	—
釧路	298	35	8.51
広尾	—	—	—
合計	539	35	15.40

(出典：おさかなひろば)

(2)三陸常磐海域

八戸から石巻における主要 8 港のマイワシの 11 月の水揚量は 8,716 トンで前年同期(12,929 トン)の 67%であった(表 2)。小名浜から銚子における主要 4 港のマイワシの水揚量は 290 トンで前年同期(4,215 トン)の 7%に過ぎなかった(表 3)。

表 2 三陸海域におけるマイワシの水揚量

水揚港	2018年11月 (トン)	2017年11月 (トン)	前年比
八戸	5,779	6,509	0.89
久慈	—	—	—
宮古	29	62	0.47
釜石	100	306	0.33
大船渡	153	321	0.48
気仙沼	180	1,041	0.17
女川	104	844	0.12
石巻	2,371	3,846	0.62
合計	8,716	12,929	0.67

(出典：おさかなひろば)

表 3 常磐海域におけるマイワシの水揚量

水揚港	2018年11月 (トン)	2017年11月 (トン)	前年比
小名浜	—	—	—
大津(茨城)	—	—	—
波崎	—	40	—
銚子	290	4,175	0.07
合計	290	4,215	0.07

(出典：おさかなひろば)

2.マイワシの体長組成

三陸常磐海域

金華山沖で今年 11 月中旬にまき網によって水揚げされたマイワシの体長組成は 15～17cm(1 歳魚)が主体であった。20cm 前後(2～3 歳魚)も漁獲された。前年 11 月上旬にまき網に水揚げされたマイワシの体長組成は 16～18cm(2 歳魚)が主体であった(図 1)。九十九里沖で今年 11 月にまき網で漁獲されたマイワシの体長組成は 12～14cm(0 歳魚)が主体であった(図 2)。

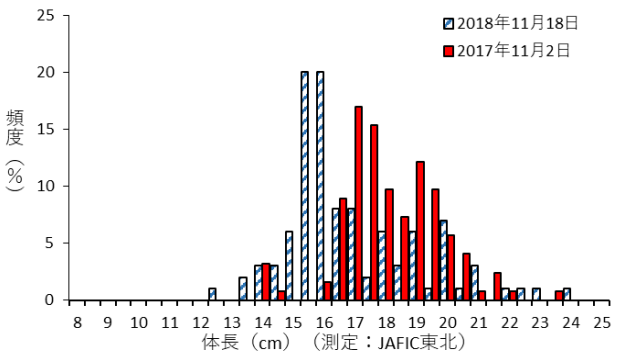


図 1 2018 年 11 月におけるまき網水揚げ物
体長組成の前年比較



参考 2018 年 11 月 18 日操業分の水揚げ物の一例

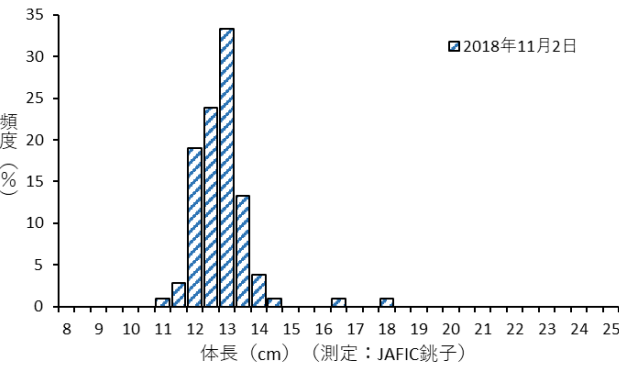
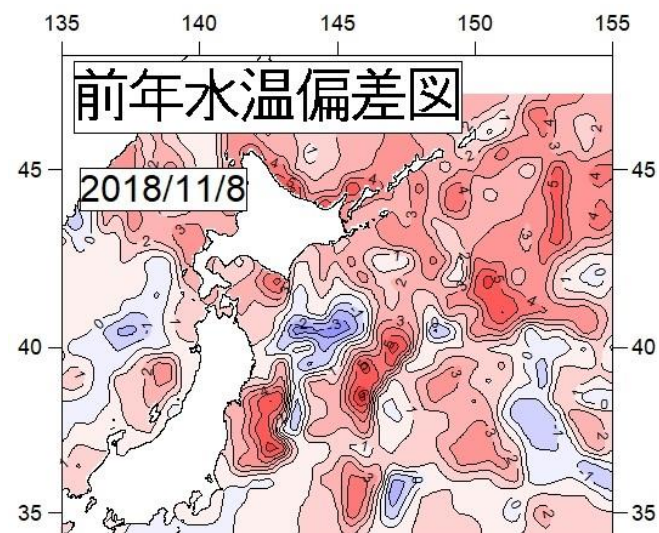


図 2 2018 年 11 月 2 日の
九十九里沖まき網のマイワシ体長組成

3.海況の特徴



(青色部分は前年よりもマイナス、赤色部分はプラス)

図3 11月8日における東北沖の表面水温偏差図

今年は道東沖の水温の低下が遅く、三陸沿岸の水温が高かった(図3)。三陸沿岸の水温が高く、漁場の南下が遅れているため、道東沖たもすくい漁の11月以降の継続や漁獲物の体長が小さいなど前年との差異がうまれたと考えられる。

4.今後の予測

今後、親潮がさらに南下し、降温が進むため、三陸海域において道東から南下する2～3歳魚が中心に漁獲されることが考えられる。常磐海域では引き続き0～1歳魚が漁獲されるが、1～2歳魚も混じると考えられる。

(漁海況部)